

人口減対策活動の参考に

福井県大野市議会の特別委

町議会特別委と懇談

箕輪町議会地方創生・人口減少対策等特別委員会（唐澤敏委員長、6人）の活動を今後の参考にしようとする8日、福井県大野市議会人口減少・若者定住対策特別委員会（松原啓治委員長）の一行9人が箕輪町を訪れ、両委員会委員が懇談した。箕輪町が進める移住定住や特別委員会の取り組みに関心を示し、活発に意見交換した。

大野市は、福井県東部に位置し市面積870平方キロの87%を森林が占める。人口は3万2000人余り。亀山山頂の越前大野城は、周囲に霧が

立ち込めると空中に浮かんでいるように見え「天空の城」として多くの観光客を呼び寄せている。

同市議会も2015年度に同特別委員会を設置。目的を同じくする箕輪町の特別委員会について理解を深め、今後の参考にしようとする。今年3月に箕輪町議会が特別委員会を設置以来、視察が行われたのは今回で3件目。

懇談では、箕輪町側が人口動向のほか専門アドバイザー設置や空き家バンクの運営などの移住定住策などを説明。特別委員会が政策提言する準



備を進めている点についても触れた。

箕輪町地方創生・人口減少対策等特別委員会
⑥と具体的活動について懇談する大野市議会
人口減少・若者定住対策特別委員会の委員⑤

松原委員長は「ここで何ったことは、早速持ち帰って検討し、取り入れるべきは取り入れた」と感想。唐澤委員長は「避けることのできない喫緊の課題でもあり、われわれだけが動くのではなく、住民にも客観的データを示しながら一緒に町の将来を考える機運を盛り上げていきたい」と話していた。